

*☆☆ エコチル調査を開始して1周年！ *☆☆
*☆☆ 多数の応援、ご協力ありがとうございます！ *☆☆

「俳優の川野太郎さんから応援メッセージが届きました！」

〈目次〉

1. 今月のコラム
2. サポーター代表からのメッセージ
3. おしえて、エコチル先生！
4. ユニットセンターだより
5. エコチル調査からのお知らせ

1. 今月のコラム

みなさま、こんにちは！最近、社会の電子化のスピードが速すぎてついていけません。少し前、知り合いの家に遊びに行った時のこと。そのお家の、まだ保育所に行っているお子さんが私の携帯電話を「貸して」というので渡すと、プチプチとさわっていたかと思うとゲームを探し当て遊び始めました。私は自分の携帯にゲームが入っていることすら知らなかったというのに！いったい数十年後にはどんな社会が待っているのでしょうか。私なんてきっと置いてけぼりになっているのだろうと思うと、この際社会に逆行して伝書鳩でも飛ばそうかと考えるこの頃です。皆さんはちゃんと電子化について行けていますか？さて、今月もメルマガをお楽しみください。（戸高恵美子）

2. サポーター代表からのメッセージ

俳優の川野太郎さんから、応援メッセージが届きました！

この春で14才になる娘は、0才児からアトピー性皮膚炎に悩まされてきました。掻いて血だらけになり自分と戦っている姿は、親として見るに耐えない光景です。

私が子どもの頃、アトピーという言葉を目にしたことはありませんでした。現代の子どもたちを襲う様々な病気がいったいどこから来るのか？大人とは違う成長段階、あるいは受胎する前の母親や父親も生活環境の中ですでに異変を起こしている可能性があるのではないかと心配です。

これから生まれてくる子どもたちに同じ苦しみを与えないためにも、今行われている調査・研究により、細かい原因がわかってくることを切に願います。

川野 太郎

3. おしえて、エコチル先生！

今回は、小児アレルギーの専門医であり、エコチル調査の「メディカルサポートセンター特任部長」でもいらっしゃる、国立成育医療研究センターのアレルギー科医長、大矢幸弘先生にお話を伺いました。

ー 最近、子どものアレルギー疾患が増加していると言われますが、本当でしょうか。

先進国では、40年ほど前から急増しています。ただ、ここ10年ほどはほぼ横ばいになってきている国が多いようです。子どものアレルギー疾患の代表としては気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの3つがあり、アレルギー性鼻炎やアレルギー性結膜炎は大人の方が多いです。食物アレルギーの原因物質で子どもに多いのは卵、牛乳、小麦、ピーナッツなどで、年齢が高くなるにつれ卵、牛乳などは減りますが、エビカニが増えてきます。

一 お母さんが妊娠中に特定の食品をたくさん食べると生まれた子供がその食物のアレルギーになりやすい、と聞きますが。

食物アレルギーは、炎症のある皮膚からのアレルギー原因物質の吸収によって発症する可能性が高い、という仮説が最近有力になってきました。たとえば、小麦の成分が入った石けんを使った人が小麦アレルギーになってアナフィラキシーを起こしたという報告が相次いでいます。最近では、ナッツ類のオイルでスキンケアすることが流行していますが、精製度の低いピーナッツ油（つまりピーナッツの抗原蛋白成分を含む）を荒れた肌に塗ることにより、肌からピーナッツの抗原蛋白が進入してピーナッツアレルギーを発症する危険性が指摘されています。その食品を大量に食べたからといって食物アレルギーになるということは実は確認されていないのです。

一 エコチル調査によってどのようなことがわかると期待されていますか。

これまで、欧米の出生コホート調査は数多く行われてきましたが、日本ではあまり行われていませんでした。さまざまな欧米のコホート調査で報告されていることが、本当に日本にも当てはまるのかどうか、このエコチル調査で明らかになるのではないのでしょうか。食べ物やライフスタイルなどももう少しきちんと調べる必要があると思います。それから、エコチル調査によって、今あるいろいろなアレルギー疾患の迷信が打ち破られるかもしれません。

☆☆ アレルギーの最新情報がわかるインタビュー全文は、
ホームページでご覧いただけます ☆☆

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/supporter/column/column09.pdf>

★ 4. ユニットセンターだより ★

「北海道ユニットセンターからメッセージが届きました！」

北海道ユニットセンター <http://www.cehs.hokudai.ac.jp/ecochil/>

北海道ユニットセンターは、北海道大学の環境健康科学研究教育センターに事務局が設置され、札幌医科大学・旭川医科大学・日本赤十字北海道看護大学と協力して、3年間で9000人の妊婦さんの登録を目標に参加を呼びかけています。

○札幌サブユニットセンター

札幌市は人口190万人で10区ありますが、そのうち北区・豊平区の2区が対象となっています。協力医療機関は、札幌全10区にまたがり、近隣の石狩市も含めて30施設です。今年の冬は、とりわけ大雪、かつ厳しい寒さでした。リース車4台をフル稼働させ、さらに地下鉄を利用し、保健センターでのリクルートと医療機関対応を乗り越えてきました。春待ち遠しい今は、TVコマーシャル・ラジオ出演・地下鉄での広告などの様々なメディアを利用して広報活動に力を入れています。エコチル調査の認知度アップと今後、加速をつけて参加者を増やすように、皆で力を合わせ頑張っています。

（札幌サブユニットセンター 土川陽子さん）

○旭川サブユニットセンター

旭川では市内の出産のできる全13医療機関でエコチル調査に参加できるようになっています。しかし、この冬は、例年になく寒い日が続いて、積雪量もかなり多く、市内の移動が大変な時期が多くありました。3月に入り雪もようやく溶けてきて、移動時間も短縮されてきていますので、参加者を増やせるようにしていきたいと考えております。

(旭川サブユニットセンター 西條泰明先生)

○北見サブユニットセンター

北見サブユニットは北見市の北見自治区（旧北見市）と近隣4町（訓子府町、置戸町、美幌町、津別町）から成っており、東に知床、西に層雲峡、南に大雪連峰、北にオホーツク海に囲まれた、自然豊かな広大な地域です。その中をリサーチコーディネーター※5名が赤ちゃんとお母さんの笑顔を楽しみにしながらエコチル調査を説明しています。お近くにいらっしゃった折にはどうぞお立ち寄りください。

(北見サブユニットセンター 伊藤善也先生)

※リサーチコーディネーター（RC）とは・・・

調査対象地域にお住まいの妊婦さんたちにお声をかけ、エコチル調査の内容を説明するなど、参加者と協力医療機関やユニットセンターをつなぐスタッフのことです。



ユニットセンターからのお知らせ



◆ 甲信サブユニットセンター <http://ecochil-koushin.jp/index.php?sub=contact3>

- ・シンボルキャラクター受賞作品の表彰式と名称発表、応募作品の展示会を行います。
エコチル信州シンボルキャラクター展
日時：平成24年3月30日(金) 11:30～ 表彰式, キャラクター名称発表
平成24年3月30日(金) 午後～4月3日(火) 応募作品展示
場所：伊那市生涯学習センター（いなっせ）
<http://www.shinshu-u.ac.jp/topics/2012/02/post-441.html>

◆ 高知ユニットセンター <http://kochi-ecochil.jp/>

- ・2月25日(土)に開催した「こうちエコチル調査」ファースト・アニバーサリーイベント『今、すこやかな環境とは～こどもたちのよりよい未来のために～』のご報告です。
<http://d.hatena.ne.jp/kochi-ecochil/20120229/1330496291>

◆ 福島ユニットセンター <http://www.ecochil-fukushima.jp/>

- ・3月10日(土)に開催した「よみきかせ&エコチルコンサート」のご報告です。
<http://www.ecochil-fukushima.jp/news/details.php?id=37>
<http://www.ecochil-fukushima.jp/news/details.php?id=38>



5. エコチル調査からのお知らせ



- 2月28日(火)「エコチル調査国際シンポジウム in 北九州」を開催しました。多数のご来場ありがとうございました。
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/action/>
- 最新のエコチル調査データ
参加者（お母さん）の数 27,582人
※平成24年2月29日現在（確定値のみ）

「サポーターのみなさんへのお願い」

あなたの身近な人に、エコチル調査をお知らせいただけませんか
10万組もの方々に参加いただくためには
ひとりでも多くの人に、エコチル調査を知っていただく必要があります
子どもたちのすこやかな未来のために、ぜひともご協力をお願いします

- ・エコチル調査ホームページ
⇒ <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>
- ・メールマガジンのバックナンバーはこちら
⇒ <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/supporter/index.html>
- ・メールマガジンの配信停止
下のアドレスへ空メール(タイトル、本文未入力)を送信してください
⇒ ecochildteishi@oi06.asp.cuenote.jp
- ・配信先メールアドレスの変更をご希望の方は
新しいメールアドレスで再度サポーター登録をお願いします
⇒ <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/entry/>

※このメールアドレスは配信専用です

発行／編集
環境省 環境保健部 環境リスク評価室
エコチル調査担当

□-----□